

1 年学年便り

1 学年 学年だより NO. 15

令和 3 年 3 月 1 7 日

「新しい4月に向かって」

ちょうど1年前、君たちは小学校を卒業しました。来週は修了式、そして、新しい4月がやってきます。「光陰矢の如し」と言います。光陰とは月日や歳月のこと。過ぎてしまえば、あっという間の3年間。そんな中学校生活でのいろいろな思い出を胸に、3月3日、卒業生が巣立っていきました。本来なら、在校生として式に臨み、お世話になった先輩たちの思いを受け止め、乙中生としてこれから益々、文武両道に勤まなくてはならないところですが、今年は参加が叶いませんでした。そこで、新しい4月に向けて、先輩からの大切なメッセージとして、当日の卒業生代表による「卒業の言葉」を全文、紹介します。（杉浦 治）

「卒業の言葉」

桃のつぼみも膨らみ、春の訪れを日ごとに感じる季節となりました。この春のよき日に第74回卒業式を無事に行うことができたのも、校長先生をはじめ、たくさんの方々のご支援とご協力のおかげです。卒業生一同、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

思い起こせば3年前。私たちは真新しい制服に身を包み、新たなスタートに胸を膨らませて、この乙川中学校に入学してきました。初めて出会う先生や仲間。何もかもが新鮮で、戸惑うことも多くありました。

そのような中、行われた野外活動では、普段できないことをたくさん経験しました。目の前に広がる自然の雄大さに、思わず息をのんだハイキング。長く険しい山道もみんなで声をかけ合い、班で協力して歩ききることができました。練習を重ねた火の舞は、一人一人の努力が形となって表れ、達成感でいっぱいになったのを覚えています。あの3日間、ともに活動したことで、どこかぎこちなかった私たちの仲間意識が、一段と高まりました。また、「この仲間とこれから過ごしていくんだ」という自覚も生まれました。

初めてできた「後輩」の存在に、嬉しいような、照れくさいような気がした二年生。全校開催となった合唱コンクールでは、「心をつなげることの大切さ」を学びました。曲の難易度も上がり、練習しても完成が見えない焦り。その不安からクラスがまとまらず、スムーズに進まない日々。時には、合唱に対する気持ちの温度差から、すれ違ってしまうこともありました。そこで試されたのは、私たちがこれまで培ってきた結束力です。思いの強さを伝えることで、「今の歌声に満足せず、何度も練習しよう。」「歌詞に込められた思いを考えて、もっと心に響く合唱にしよう。」と、一つになっていくクラスの成長が、どんなに嬉しかったことか。そして、当日。どのクラスも、「心も、歌声も、仲間と一つにしよう。」という思いがあふれる歌声に胸を打たれました。私たちは、困難を乗り越えた先にしかない景色を、仲間とともに見ることができました。耳を澄ませば、あの時、この場所で、無我夢中に響かせた歌声が、聞こえてきそうです。

自分の夢に向けて高い目標を掲げた三年生。それは、異例な状況の中で始まりました。運動場で行われた、重たい雰囲気の中での始業式。歓声の聞こえないクラス発表。どうしたらいいかわからず、入学した頃とは、別の不安を感じました。さらには、郡大会や合唱コンクールなどの中止も決まり、3年間の努力を発揮する場がなくなったことに落胆していました。



しかし、たくさんの方の支えがあって、唯一、体育祭を開催することができました。感染症予防のため、三年生のみで行うことになった応援合戦。本番で使用する道具に、同じ団の後輩たちがメッセージを書いてくれました。「応援合戦楽しみにしています。」「一緒にがんばりましょう。」その手書きの文字に、とても心があたたかくなりました。演舞には巧みな隊形移動をしたり、鳴子を使用したりするなど、今まででは思いつきもしなかったアイデアで、熱く静かな闘志を燃やしました。

先生方。入学当初、「新入生」と呼ばれ続けた私たちは、この3年間で「卒業生」まで成長することがで

きました。それは紛れもなく、厳しさとそこにある大きな愛で、常に寄り添い背中を押してくださった先生方のおかげです。今まで過ごした日々、先生から学んだことを決して忘れずに、それぞれ新しい場所でも活躍していきます。

お父さん、お母さん。私たちの一番の理解者として、ずっと近くで支えてくれました。今日で義務教育の9年間が終わります。まだまだ未熟で、支えが必要な私たちですが、これからもよろしくお願いします。いつもは恥ずかしくて言えないけれど、どんなに言葉を並べても言い表せないくらい感謝しています。今日まで深い愛情をもって育ててくれて、本当にありがとう。これからは、未来に向かって、自分で努力を重ねることができる人へと成長していきます。

卒業生のみんな。この253人と出会ってから3年。今日まで楽しい時間を共有し、たくさんの困難をともに乗り越えてきました。数日前に手にした、卒業アルバムを見て、たくさんの思い出が鮮明によみがえってきました。そして、私には、こんなにも大切な仲間がいたからこそ、がんばることができたのだと。

最後の1年。今まで通りの毎日を送ることができず、やるせない気持ちもありました。それでも、私たちは限られた範囲の中で、最高の思い出をつくろうと、全力で駆け抜けました。クラスが最も輝いていたあの瞬間。学年を越えて、乙中が一体になったあの瞬間。嬉しさ・悔しさをみんなで分かち合ったあの瞬間が、昨日のここのようです。

常に側に居ることがあたりまえだったみんなが、これからは別々の道を歩き出すと思うと寂しく感じます。「まだ一緒に居たい。」「笑い合っていたい。」そんな気持ちがとめどなく、あふれてきます。

けれど、私たちは、心に決めた夢に向かって、これからも進み続けなくてはなりません。253人の特別な仲間。一人一人の不安は、みんなで勇氣と力に変えて、今、新しい一歩を踏み出します。

ありがとう。そして、さようなら。綿毛のように飛び立つ私たちが、それぞれの地で夢を育て、やがて鮮やかな花を咲かせますように。

令和三年 三月三日 卒業生代表



4月の予定

日	曜	授業	予定・行事	日	曜	授業	予定・行事
1	木			16	金	E45	検尿2
2	金			17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月	A	
5	月			20	火	B	
6	火	特	(午後)新任式・入学式準備	21	水	C	
7	水	特	入学・始業式	22	木	D	授業参観・PTA総会・学年懇談会
8	木	特	②学年集会	23	金	E	
9	金	特	①学テ(数)③学テ(国)	24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月	A	
12	月	特	②学テ(社) 給食開始	27	火	B	
13	火	特	②学テ(理)③④身体測定	28	水	C	
14	水	特	①②クレペリン③学テ(英)	29	木		昭和の日
15	木	D	普通授業開始 検尿1	30	金	E	

●転出につきましては、学級数や学級編制に影響しますので、まず本校へ速やかにご連絡ください。